

元気都市 四日市へ!!!

第41号

森 ともひろ通信



あなたは 4 3 4 5 8 1 人目の読者です。

45歳 四日市市長/公認会計士

『東海・北陸B-1グランプリin四日市』を11月18,19日に開催

国内最大級のまちおこしイベント『2023東海・北陸B-1グランプリin四日市』を11月18日(土)・19日(日)に三滝通り周辺を会場にし開催します。

本来は、3年前の2020年の市制施行123周年の記念イベントとして開催を予定していましたが、新型コロナの拡大により、開催見合わせとなっていました。3年越しの待ちに待った開催となります。

全国からご当地グルメの団体が20団体、四日市に集結し、約10万人の来場者が期待されます。県外からも多くの来場者が見込まれる『2023東海・北陸B-1グランプリin四日市』をシティプロモーションのチャンスと捉え、大いに盛り上げていきます。

また、四日市市のご当地グルメ「四日市とんてき」が、昨年度、文化庁が実施する「100年フード」に認定され、開催前に嬉しいニュースを届けてくれました。

皆さん、是非、会場にお越し頂き、全国のご当地グルメをご堪能下さい！



『四日市市学校給食センター』～食缶方式による中学校給食開始～



今年2月、赤水町に『四日市市学校給食センター』が完成したことにより、市内公立中学校全22校に最大9,000人分の給食を提供出来る体制が整い、4月から『食缶方式による全員喫食の中学校給食』がスタートしました。

これまで四日市市の公立中学校は、注文にて届けられるデリバリー給食と家庭弁当の併用を行っていましたが、デリバリー給食の喫食率は低く推移しており、多くの家庭より中学校での食缶方式の完全給食を望む声がありました。

二重食缶を使用していることから、温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま提供することが出来ます。また、当「学校給食センター」は、全国的にも珍しい「農業センター」と同敷地内に整備を行っていることから、両施設の連携が図れ、中学校給食に食育や地産地消の要素を積極的に取り入れ、四日市市の特色を出した給食を展開していきます。

【子育てするなら四日市】県下初の常設型『幼児教育センター』開所

4月に『四日市市幼児教育センター』を開所しました。当センターは、四日市市における幼児教育・保育の質的水準を上げる為に、これに関わる公立・私立を問わず、市内全ての保育園、幼稚園、こども園等の先生のサポートを行っていきます。常設型の『幼児教育センター』は三重県で初となります。

全国的に幼児教育・保育の現場は、先生達が多忙を極め、十分な研修を受けることもままならない状況にあります。そういった状況を踏まえ、『四日市市幼児教育センター』では研修をオンラインやアーカイブ配信等で実施したり、各園にアドバイザーを派遣するアウトリーチ型の支援を行っていきます。公立・私立、保育園・幼稚園・こども園等の垣根を超えた、本市の幼児教育・保育の質を高める特色ある取り組みとなります。



【令和5年度予算】若者の出会い・結婚支援をスタート

令和5年度から、若者の出会い・結婚を支援する『四日市マリッジサポート事業』をスタートしました。結婚を希望する独身の人を対象としたセミナーやイベントの開催や新規に結婚した世帯に10万円の結婚祝い金を支給する等、若者の出会いや結婚新生活を応援します。

【四日市市観光大使】落語家『林家 菊丸』さんを選任

今年4月、令和4年度第77回文化庁芸術祭大衆芸能部門にて「大賞」を受賞された落語家『林家 菊丸』さんを四日市市観光大使に選任しました。

菊丸さんは、三重県(亀山市)にお生まれになり、高校時代の3年間を四日市市で過ごされ、1994年に4代目林家 染丸師匠に入門され、2014年に上方落語の大名跡「林家 菊丸」を三代目として115年振りに襲名されました。冒頭にご紹介した文化庁芸術祭大衆芸能部門の48歳での「大賞」受賞は快挙であり、若くして大きな功績を残されています。

菊丸さんは、四日市市を落語で盛り上げていきたいという熱い想いをお持ちで、様々なアイデアをお話し頂きました。

今後、お力添えを頂きながら、落語を用いた新たな取り組みを展開していければと思います。



『ふるさと納税等戦略プロデューサー』就任。赤字解消に向けて



四日市市が公募を行っていた『ふるさと納税・シティプロモーション戦略プロデューサー』に、日下幸一郎氏が5月8日から着任しました。日下氏は、山口県出身でこれまで大手広告代理店の電通に勤務されており、一貫して広告の制作部門でコピーライター、クリエイティブディレクターとして様々な企業の商品広告や企業広告等を担当され、多くの広告関連の受賞歴もお持ちです。

また、地方自治体への出向経験もお持ちで、企業版ふるさと納税の制度を活用した企業からの寄付による事業や広報、シティプロモーション等の業務に従事されていました。

今回の『ふるさと納税・シティプロモーション戦略プロデューサー』の公募は、待遇を公務員としては異例の年収1,000万円程度(諸手当を含む)としたこともあり、多くのメディアで取り上げられ大きな反響を呼びました。

この背景には、令和3年度、四日市市はふるさと納税で8億円の赤字となっており、市民サービスに使われるべき財源である市民税を多額に失っているという厳しい状況に直面していることがあります。

例えば、8億円は、市内公立小学校の1年間の給食費を無料に出来る財政規模となります。

市民サービスに使われるべき財源を確保するためにも、今回着任した日下プロデューサーと力を合わせ、ふるさと納税の赤字額の解消を図っていきます。

■駅立ち764日到達!! 街頭演説も継続的に実施中。

平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、令和5年5月22日の近鉄塩浜駅西口で764日目を迎えました。また、街頭演説は毎月実施しています。

駅立ち・街頭演説は政治家 森智広の活動の原点です。原点を忘れることなく、積極的に市民の皆さんに市政情報及び、自らのメッセージを届け、皆さんと共に四日市市政を進めていきます。



駅立ち実績 (令和4年12月23日～)

12月23日 近鉄四日市駅西口	1月23日 近鉄富田駅東口	3月 1日 近鉄伊勢松本駅	5月 9日 近鉄北楠駅
12月27日 近鉄四日市駅北口	2月 1日 近鉄霞ヶ浦駅	3月 6日 近鉄川島駅	5月15日 JR 四日市駅
1月10日 近鉄富田駅西口	2月 6日 近鉄阿倉川駅	3月13日 三岐暁学園前	5月22日 近鉄塩浜駅西口
1月16日 近鉄四日市駅東口	2月13日 近鉄川原町駅	4月27日 近鉄塩浜駅東口	

森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスコーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選 (現役最年少)
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選
令和2年 57年振りの無投票で 四日市市長選挙2期目当選。



継続的に市政情報発信しています!
森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索